



# とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2247



遠州三山風鈴まつり(油山寺) 提供:宮内 勝利 会員

第2247回 例会 平成30年8月7日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 大内 一恭 会長

国 歌 … 君 が 代

ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 大内 一恭 会長

誕 生 祝 … なし

結 婚 記 念 日 … なし

入 会 記 念 日 … なし

幹 事 報 告 … 森 はるみ 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「銚子の魅力発信」

銚子市長 越川 信一 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

8月14日(火) 休会(お盆)

次回のプログラム(平成30年8月21日)

\*\*\*\*\*

卓 話

「例会と親睦」

第8グループガバナー補佐 高橋 宏資 氏

お食事「川元」



## BE THE INSPIRATION

インスピレーションになるう

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン

第 2246 回例会(平成 30 年 7 月 31 日)

**会長挨拶**

大内 一恭

皆様この一週間いかがお過ごしでしたか?

26 日(木)犬吠埼ホテルにて女子ソフトボール台湾代表の歓迎レセプションパーティーがありました。当会から澤田会員と私が参加致しました。

ソフトボールは野球と同じく 2020 東京オリンピック・パラリンピックの正式種目となり、日本女子チームも金メダル候補として注目を集めているところです。台湾チームは世界野球ソフトボール連盟(WBSC)世界ランキング 5 位(日本は 2 位)で、昨年台湾で開催された世界選手権アジア地区予選大会で日本に次ぐ準優勝したチームです。8 月 2 日から千葉県内 4 会場で開催される「第 16 回世界女子ソフトボール選手権大会」に台湾チームは出場します。

尚、銚子市では 8 月 6 日にナスパスタジアムで開催されるオランダ代表チームとの試合に応援ツアーを計画しています。是非皆様の参加をお願い致します。

レセプションでは張徳昌君が台湾チームとの通訳として活躍されていた事申し添えます。

簡単ですが会長挨拶とさせていただきます。

**幹事報告**

- 1・国際ロータリーより
    - ・例会休会と出席率計算・出席免除について
    - ・ロータリー入会候補者情報の管理方法 受領
  - 2・ガバナー事務所より
    - ・「ハンブルグ国際大会についてのアンケート」のお願い
    - ・奉仕プロジェクト推進セミナーのご案内
    - ・8月のロータリーレートのお知らせ 1\$=112円
    - ・ガバナー事務所及びエレクト事務所夏季休業のお知らせ
    - ・米山クラブ委員長の手引きについて 受領
  - 3・ロータリー米山記念奨学会より
    - 奨学生・学友証明書送付の件 受領
  - 4・ロータリーの友事務所より
    - 2018-19 年度手引書 受領
  - 5・小見川 RC より
    - 事務局住所等変更のお知らせ 受領
  - 6・例会変更のお知らせ
    - 旭 RC より
      - 8/10(金) 休会 定款第 8 条第 1 節(c)による
      - 8/31(金) 点鐘 18:30「黄鶴」夜間例会の為 受領
    - 八日市場 RC より
      - 8/14(火) 休会 お盆の為
      - 8/28(火)→8/29(水)
      - 東京 RC ビジター訪問及び納涼家族会の為 受領
    - 銚子 RC より
      - 8/15(水) 休会 定款第 8 条第 1 節(c)による 受領
- ☆会報受領 佐原香取 RC 銚子 RC  
☆活動計画書受領 佐原香取 RC

**卓 話**

「R 情報 決議 23-34 から見たロータリーの姿」

R 情報委員会 藤崎 一成 委員長

**1. 決議 23-34 とは何か?**

1923 年(大正 12 年)のセントルイス国際大会にて採択された 34 号目の議案であったことから 23-34 と呼ばれております。またの名を社会奉仕に関する 1923 年の声明とも呼ばれております。



この決議 23-34 はロータリーにおける奉仕理念を明文化した唯一の文書とも言われ、全てのロータリー活動の指針となるべきものとも言われる大事なドキュメントであります。

もちろん、最新版の手続要覧の冒頭にも掲載されております。実に 95 年の長きにわたり全世界のロータリアンの行動指針になっているのです。

では、この決議 23-34 がなぜ大事にされてきたのか。それを知るにはまずロータリーの成り立ちから探っていく必要があります。

**2. 草創期のロータリーの姿**

ロータリーの発祥は 1905 年(明治 38 年)、ポール・ハリスの発案によりシカゴにて産声をあげました。当時のシカゴの街は一攫千金を夢見た金の亡者達が集まる混沌とした状況でした。商業道徳は退廃し、騙すより騙される方が悪いといった風潮で、心の許せる友など作れる状況ではありませんでした。弁護士として殺伐としたシカゴの状況を目の当たりにしたポール・ハリスは心を痛め、ロータリーの構想を思いつきシカゴに初のロータリーを設立したのであります。

当時の会員はシカゴの中小の商店主、事業家等でありました。ゆえに、活動経費を少しでも抑え、気軽な集まりにする為に会館等の豪華な設備を持たずに、会員の事業所をローテーションで回るといったモデルでした。このことから、ロータリークラブと名付けられたのです。

例会での話題といえば専ら商売の話でした。当時は一業種一名でしたので、会員は互いに心が許せる間柄となり、ビジネスアイデアの交換等が積極的に行われていたとのことです。そのためロータリーは事業家達にとって精神的な柱となり、さらに会員同士での互惠取引も積極的に奨励されていたことから実利的にも便利な存在でした。つまり初期のロータリーは親睦と互惠取引が中心だったのです。

**3. シェルドンの入会**

そのような中、1908 年(明治 41 年)アーサー・フレデリック・シェルドンが入会しました。シェルドンはクラブ会員の利益だけに固執しているようではロータリーの発展は望めないと主張しました。彼の職業は経営学者でしたので、当時、シカゴの街で破産倒産が相次ぐ中で、商売繁盛を続ける商家があることに気がつき、その経営手法を研究しました。

すると、繁盛している会社の根底には「お客様、取引先の身になって商売に励む」という原理原則があることに気がついたのです。

そこでシェルドンは「He profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という標語を結実させ、その奉仕理念をロータリーに浸透させていきました。

この奉仕理念を実践に移したロータリアンの職場は事実の上に活気に満ちはじめ、着々と成功者が生まれました。こうして、ロータリーの奉仕理念を実践すれば、自社の商売は繁盛

し人生の成功がもたらされるという風潮が形成されていったのです。

#### 4. 実践派と理念派の対立

その中、1910年代に入って具体的実践を伴わないロータリーの理念に飽き足らず、クラブとして金銭的奉仕や身体的奉仕の実践をも積極的にするべきであるという動きが顕著になりました。こういった人々を「実践派」またの名を社会奉仕派と呼びます。

実践派の先頭に立ったのは身体障害児の保護、教育に貢献してきたエドガー・アレンという人でした。彼は、1918年、身体障害児対策をすることを条件にしてエリリア・クラブに入会し、ロータリーは一丸となってこの事業にあたるべきであると主張し、1922年のロサンゼルス大会に身体障害児救済事業に関する決議案を提出しました。

理事会はこれを受け、この事業を奨励する決議 22-17 を採択しこれに力を得た実践派の動きはますます活発になっていきました。

こうした身障児対策などの社会奉仕活動は大きな資金とマンパワーを必要といたします。そのため、ロータリーの中では奉仕活動の実践をめぐる熾烈な論争が起こるようになりました。

先程、申し上げたシェルドンを中心とする、理念派は、ロータリーの使命は、ロータリアンに奉仕の心を形成させることであり、個々のロータリアンが奉仕の心を持って、事業を営み、利益を適正に配分することであると考えました。また、その考え方を業界全体に広げていくことが、全ての人々に幸せをもたらすそれが地域社会の人々への奉仕につながることを確信していました。つまり職業奉仕中心の考え方でした。そして、職業奉仕以外の分野で、奉仕に関する社会的ニーズがあったとしたならば、それは職業上得られた利益の中から個人的に行ったらよい、という考え方でした。

一方のエドガー・アレンを中心とする実践派は、現実には身体障害者や貧困などの深刻な社会問題が山積している以上、社会奉仕の実践が大事であると訴えました。実践派から見れば、奉仕の機会を見出して、それを実践することこそロータリー運動の真髄であり、単に奉仕の心を説き自らの事業の発展を願う理念派の態度は責任回避としか写らなかったのです。

こうしてロータリーは分裂の危機にまで瀕し、両派の対立を解消する為に生み出されたのが、決議 23-34 なのであります。

#### 5. 本文の解析 1の前半部分

では、早速、決議 23-34 の本文を抜粋して見てみましょう。

1. ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

1の前半を見ますと、まず冒頭に「ロータリーは一つの人生哲学」であると断言しているのです。よく「ロータリーって何？」と一般の人から聞かれることがあります。決議 23-34 を持って語るなら、ロータリーは人生哲学なのです。

またこの条では人間には利己心と利他心が併存していることも述べています。この世の中はある種の生存競争であることを思えば、他人の為だけに生きていくことはできません。生存本能としての利己心は必要不可欠であります。

かといって、利己も行き過ぎれば、自分さえよければ良いと

いう論理になり、これのまた世の中が荒れていきます。利己の追求だけでは、商業道徳が廃れ、詐欺、倒産が横行したシカゴの街に逆戻りです。

利己に傾き過ぎてもだめ、利他だけでも生きていけない。こうした本来は矛盾した概念である、利己と利他を和らげようとする人生哲学がロータリーだ、と決議 23-34 は言っているのです。

#### 6. 深川 PDG の解釈

これを 2680 地区、伊丹ロータリーの深川純一 PDG が、わかりやすく解説しています。『例えば、1 万円のを仕入れてきて、これを 50 万円で売ったとすれば、そのような利益をロータリー的な意味での利益と言えるか。これは暴利であってロータリー的な利益とは言えない。なぜならばこの取引は売り主はよくとも買い手のほうが損をしているからである。』と深川 PDG は解説しております。

続けて深川 PDG は『売り主も儲けなければ幸せな人生を築くことはできないが、それにも限度がある。適正な利潤を超えて儲けてはならない。売り手だけでなく、お客さんもその商品を買って幸せになるという、商人とお客さん、両者の調和点がどこかになければならぬ。このことを抽象的な言葉で表現すると、利己と利他との調和になる。ロータリーの奉仕というのは、実はこのことを言うのである。商人は適切に儲けて幸せになる。お客さんもよい商品を受け取って幸せになる。商人とお客さんの双方のバランスをとる一点というものが必ずある。その点を追求していくのがロータリーである』

要するに、企業経営は利潤追求の営みですから、企業の根底には儲けがあってよいのだけれども、その儲けのなかに、儲けてよい儲けと、儲けてはならない儲けがあって、その儲けてもよい儲けを追求することがロータリーの目的なのだと言っています。深川パストガバナーは解説しています。

#### 7. 本文の解析 1の後半部分

そして1は、『この哲学は奉仕—「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。』で結ばれております。

後半部分、「この哲学は」の、「この」とは、深川 PDG の解釈をもってするならば、利己と利他との調和を追求するロータリー哲学のことを指します。

言い換えれば、利己と利他との調和を追求するロータリー哲学は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものだ、と言っていることになります。

#### 8. 田中毅 PDG の解釈

2680 地区尼崎西ロータリーの田中 毅 PDG はシェルドンの奉仕哲学を決して道徳的な標語ではなく、科学的で道理に沿った経営学であると論じています。

田中 PDG は『シェルドンは、どんな手段でも富を得たものが成功者だともはやされた19世紀の利己的な経営手法を批判すると共に単に自分だけが儲けようという商売から脱して、他人に対してサービスすることが、事業を成功させる方法であることを力説した』と解説しています。

また、田中PDGは「シェルドンは原因結果論から奉仕哲学を説いている」とも論じています。具体的にいうと、『火という原因によって、熱という結果が生まれる。大きい火によって大きな熱が得られるように、大きい Service を行えば、大きな profits が得られる。言い換えれば、利他の心を持って、他人の成功を願うことが、自らが成功する秘訣である』というものです。

ここで注目すべきなのが、Profit とは決して精神的なものではなく、物質的な富によって得られる価値、つまり「儲け」という点です。つまり、職業奉仕に徹すれば必ず継続的な事業の発展が得られるというシェルドンの考え方の中では清貧という考え方は存在しない、と田中 PDG は言い切っています。

したがって、正しいことをやっているのに利益が出ない、というのは、ロータリー的に言えば、利己と利他の調和点が間違っているか、その業が社会のニーズに適合していない、ということになります。

### 9. 6のG 社会奉仕について

g) クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかかっていると見える。それは、ロータリー・クラブでの社会奉仕活動は、ロータリー・クラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。

この一文については群馬の桐生のパストガバナーの前原勝樹さんがこのように解釈しています。

『ロータリーの奉仕活動に寄せられる声として良く聞くのが「ロータリーは奉仕、奉仕といっても別に大したことをしていないじゃないか。ベンチを寄付したり、くずかごを寄付したり、雨傘を寄贈する。あれだけの立派な社長や旦那方があつまっていて、いささか仕事が小さすぎはしないか」というものだ。私達はこの批判を甘んじて受けて良い。それはロータリーにおける奉仕活動はあくまでサンプルであって、実習作品に過ぎないからである。例えば交通標識を寄贈するのも、それ自体が目的なのではなくて、クラブの会員が交通問題に対して目を向けること、寄付を出発点として、会員各人に奉仕を奨励して、問題解決に接近しようとするのが目的である。だから寄付の大小は問題ではないのだ。』と前原 PDG は言っております。

また『社会奉仕活動に参加するロータリアンはある意味で訓練生である。事業に成功した素質の良い地域社会の指導者に、もう一つ奉仕という筋金を入れてあげようというのがロータリークラブなのである。』とも言っております。

つまり、ロータリーにおける奉仕活動の真髄は、まず参加してみて、そこから個人個人が気づきを得て、各々の事業生活、社会生活、家庭において、それを活かしていかなければならない、ということでもあります。

### 10. 結び

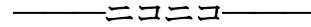
まとめますと、決議 23-34 は我々がロータリー活動をしていく上での指標のようなものであり、また一般の人から「ロータリーって何？」と問われた時に「こういう団体だよ」と答えられる要素が散りばめられていると思います。

本日、皆様のお手元に決議 23-34 の全文をお配りしました

ので、折に触れお目通し頂ければ、ロータリー活動の指針となることでしょう。

#### ※参考文献※

ロータリー入門書 前原勝樹 重田政信著  
社会奉仕決議23-34徹底の解析 田中毅著  
職業奉仕の根本原理と、その実践 深川純一著



#### 藤崎一成君

本日 R 情報委員会からの卓話です。宜しくお願いします。

8月のロータリーレート  
1 \$ = 112円

ロータリーの特別月間  
8月  
会員増強・新クラブ結成推進月間

#### 前回の例会(7/31)報告

点 鐘 大内 一恭 会長

#### 出席報告

会員総数 30 名 出席規定除外数 4 名  
出席者 21 名 出席率 77.78 %  
7月17日 確定出席率 78.57 %

#### 来訪ロータリアン

神津裕之君 大里忠弘君 島田洋二郎君  
(銚子RC)

欠席者 6名

#### メイクアップ

藤崎君 (7/27成田RC)  
藤崎君 大内君 (8/1銚子RC)

#### スモールコインBOX

小 計 ￥ 1,450-  
累 計 ￥ 6,345-

#### ニコニコBOX

小 計 ￥ 4,000-  
累 計 ￥ 27,000-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大内一恭 副会長 宮内勝利 幹事 森 はるみ

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 堀 猛・杉浦 武・平幡照正・山本嘉一郎

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。